

ブックレット作成ワーキング報告

愛知教育大学男女共同参画マスタープラン(2007年3月)に2007年度以降の目標・課題として定められた『愛知教育大学男女共同参画教育ブックレット』(仮称)の作成に取り組みました。

2007年12月に執筆要綱を策定し、1～2月に執筆、3月発行の予定で、現在、編集作業中です。

『愛知教育大学から発信する男女平等教育』執筆要綱

男女共同参画委員会

- 1、題目；シリーズ「男女平等教育シリーズ ～男女共同参画社会をめざして～」第一巻『愛知教育大学から発信する男女平等教育』
- 2、発行元；愛知教育大学出版会
- 3、発行予定；2008年3月末
- 4、趣旨；
 - (1) 男女共同参画社会の推進のために、教育大学としての本学の特性を活かして、社会的責任を担う。
 - (2) 愛知県における男女共同参画教育の推進のために、教員・社会教育関係者が活用可能な実践集とする。
 - (3) 本学の授業で活用できる実践集とする。
 - (4) 第1巻のねらい；教育学、教育現場、学校運営、授業の内容と方法等は、ジェンダーの視点から見ると、どのような課題を持っているのか洗い出すことによって、男女平等参画社会およびジェンダーについての基礎的理解を獲得し、ジェンダーの視点を育てるための学習書を目指す。大学生が、本学の授業で活用できるとともに、個人学習のガイドブックとしても使用に耐えるものとする。
- 5、構成；
表紙
はじめに
目次
I 総論
 1. 序 ジェンダー視点が拓く男女平等教育
 2. 世界が見えてくるジェンダー用語
- II 教職科目にジェンダー視点をたてる
 1. 「教育の社会的研究」
 2. 「教育の方法と技術」
 3. 「生活の指導と方法」
 4. 「教職大学院」
- III 教科をジェンダー視点から問い直す
 1. 生活科教育
 2. 国語教育
 3. 社会科教育
 4. 外国語教育
 5. 数学教育
 6. 情報教育
 7. 理科教育
 8. 音楽教育
 9. 美術教育
 10. 保健体育
 11. 技術教育
 12. 家庭科教育
- IV 現代的教養としてのジェンダー
 1. 「平和と人権」
 2. 「社会生活入門」

3. 「人間と生活」

V 多様な教育ニーズに応えるジェンダーの視点

1. 「特別支援教育」
2. 「幼児教育」
3. 「養護教育」
4. 「日本語教育」
5. 「教育臨床学」
6. 「教育実践総合センター」
7. 「保健管理センター」

おわりに

裏表紙

備考；

(1) 章の扉の前の余白頁には、適宜コラムを入れる。

例；愛知県の教員の性別構成

(2) 頁数に余裕があれば、資料として、日本国憲法（抄録）、子どもの権利条約（抄録）、男女共同参画社会基本法等の収録を検討する。

6、原稿の様式（略）

7、原稿の提出方法（略）

8、刊行までの日程

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 12月20日 | 第4回男女共同参画委員会 執筆要綱策定。 |
| 12月末 | 委員長名にて、原稿依頼を送付する。 |
| 1月21日 | 各組織より、執筆責任者を決定し、委員会事務局に報告する。 |
| 2月末日 | 原稿締切 |
| 3月中旬 | 第1稿を公表し、学内パブリックコメントを募集する。（期間は約1週間） |
| 3月下旬 | パブリックコメントおよび回答を公表する。校正。 |
| 3月末日 | 発行 |